

競技・審判上の確認

大会競技委員長 川 埜 保 幸

大会審判委員長 阿 部 義 之

1 競技規則について

- (1) 2024年度 公益財団法人 日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。ただし、ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。本大会はすべて3セットマッチとし、ワンボール・システムとする。また、大会使用球は、男子：ミカサ製カラーボール「V300W」、女子：モルテン製カラーボール「V5M5000」とする。

2 チーム構成について

- (1) チームは監督・コーチ・マネージャー各1名・選手18名以内とし、試合毎に14名以内の選手をCOMPOSITION SHEET（構成メンバー表）にエントリーする。なお、監督・コーチがともに外部指導者の場合は引率責任者を（校長が認める当該校の職員、又は校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）を届け出なければならない。
- (2) 構成メンバー14人のうち、外国人留学生は2名までとし、コートへの出場はそのうちの1名に限る。
- (3) 参加申込書に記載された監督・コーチ・マネージャーに変更がある場合、チームスタッフ変更届を1月19日（日）～24日（金）の期間に、小谷道協会競技委員宛てにメールで送信すること。ただし、変更がない場合は届けを出す必要はない。（メールアドレス：kotachan4188@hokkaido-c.ed.jp）その後に変更がある場合は、試合当日の会場で提出すること。COMPOSITION MEMBER（構成メンバー）はチームスタッフ変更届提出後、大会を通じて変更はできない。
- (4) 各試合のエントリーは、第1試合はプロトコール30分前、第2試合以降は、前の試合の第1セット終了までに競技本部に用意された各チームのCOMPOSITION SHEET（構成メンバー表）によりエントリーすること。COMPOSITION SHEET（構成メンバー表）は競技本部に用意されているためチームは持参する必要なし。また、試合が連続する場合は、試合終了後すみやかに提出すること。COMPOSITION MEMBER（構成メンバー）とは、試合毎にエントリーされたメンバーである。

3 競技参加者について

- (1) 監督・コーチ・マネージャーは各1名、選手14名以内とする。監督・コーチは当該高等学校の職員又は外部指導者とする。外部指導者の場合は道高体連災害補償制度もしくは傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険）等に必ず加入することを条件とし、当該高等学校長および高体連バレーボール専門部長の承認を得なければならない。マネージャーは当該高等学校の教職員もしくは生徒とする。なお、引率責任者・トレーナーはベンチに入ることはできない。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーは、それぞれが左胸にマークをつけなければならない。
- (3) 監督はスコアラーズテーブルに最も近い位置でチームベンチに座る。ただし、ラリー中であっても試合を妨げない、または遅延させない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアまでのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。ただし、主審に向かって左側にベンチがある場合、ラインジャッジ（L2）の判定に影響がある場所には立たないこと。
- (4) ベンチスタッフは、ネクタイ及びジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用する。Tシャツ等の襟のないものや、短パン、ハーフパンツ等は許可されない。マネージャーが生徒の場合

合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。

4 コートワイピングについて

- (1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間に行う。ただし、COMPOSITION MEMBER（構成メンバー）以外の登録されたメンバーから最大2名までクイック・モップパーとしてベンチの両側に配置できる。1名の場合は監督席と記録席の間に配置しワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイック・モップパーは、モッピングが目的なので応援等はできない。
- (2) タイムアウト中、およびセット間にモップを使ってモッピングを行う場合、クイック・モップパーが行うのが望ましい。クイック・モップパーがいない場合、競技者あるいはベンチスタッフがモップを使って行っても良い。

5 リベロ・プレーヤーについて

- (1) 正規の競技者とリベロ競技者の人数については、以下のとおりとする。
 - ①登録12名以内の場合、リベロ・プレーヤーの人数は0名・1名・2名のいずれでも良い。
 - ②登録13名及び14名の場合、リベロ・プレーヤーの人数は2名でなければならない。
- (2) リベロ・プレーヤーは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
- (3) リベロ・プレーヤーは、チームの他の選手とは明らかに対照的な色のユニフォームを着用しなければならない。対照的な色でない場合、競技委員・審判委員の判断で、ベストの着用を指示することがある。
- (4) 本大会は、アシスタント・スコアラーを補助役員生徒や参加チームが担当するので、交代する時はサイドライン上で一度、対になり立ち止まる。また、タイムアウト後は、前ラリーの状態に戻り、その後に交代する。

6 試合と試合前の練習について

- (1) 全日程、開場時間は8:20とする。また、1日目・2日目の第1試合の練習開始は8:50とする。ただし、最終日については準備ができ次第とする。
- (2) 全日程、第1試合の開始時刻は9:30とする。第2試合以降は追い込みとする。
- (3) 各会場ウォームアップエリアを設ける。ただしボールの使用は不可とする。
- (4) チームがその日の初戦の場合、アリーナにて、コート・ボール・ネットを使ったウォーミング・アップを第1試合は40分間、第2試合以降は30分間（ただし公式練習を含む）行う。その他の場所においてはランニング・ストレッチ等のみとし、ボールを使うことはできない。最終日については別に定める。
- (5) 1日に2試合ある場合、試合が連続しない時は前の試合が終わってからおおむね10分後、連続する場合は20分後にプロトコールを開始する。
- (6) ネットの上げ下ろしがある際のコート練習の開始については、競技委員や審判委員の指示に従うこと。
- (7) 公式練習には、構成メンバー以外の登録メンバーもボールキーパー（ユニフォーム以外のものを着用する）として練習に参加することができる。※ボールキーパーはコート外でボールを拾うことのみが許される。
- (8) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用して練習しているチームの妨げにならないよう、もう一方のチームはエンドライン後方のフリーゾーンまたは自チームベンチ前にてウォームアップを行う。

(9) 前の試合の終了後は大会役員によるコートチェック等の確認作業があるため、チームは競技委員や審判委員からの指示があるまでコートに入らないこと。

7 その他

(1) コートオフィシャルについて (アシスタント・スコアラー2、ラインジャッジ4、点示2 計8名)

① 1日目・2日目

第1試合は第3試合のチームから半分ずつ、以降は前試合の敗退チームが行う。

ただし、審判委員や補助役員生徒がコートオフィシャルを行う場合がある。

② 3日目については、審判員および地元補助役員生徒が行う。

(2) 観戦について

① 観戦は各会場の観客席・2階ギャラリーで行うこととする。函大有斗高校のみ1階アリーナ内フロアに観戦エリアを設ける。密にならないよう配慮して応援をすること。

② 部旗・のぼりについては試合の当該チームを優先とする。部旗を掲げる際はギャラリー下の空間にはみ出ないように注意すること。

③ 鳴り物については北斗総体は制限なし、函大有斗高校は授業があるため禁止、函館大学は講義と一般入試があるので2/1までは禁止、最終日のみ可能となります。

(3) ビデオ撮影について

チームベンチ及びベンチ付近での撮影は禁止とします。撮影については観客席かギャラリーで行うこと。